

デュポンタイベック®製 「タキイホワイト」で

ハウスの 明るさと涼しさが 大幅アップ!

タキイ種苗(株) 資材部

タキイホワイトに使用しているデュポンタイベック®は、非常に細いポリエチレン製の繊維(0.5~10ミクロン)で作られた不織布です。細い繊維が乱反射を高めるので、アルミやステンレスより反射率が高く、熱をほとんど吸収しない画期的な素材を使った遮光ネットです。

ノービが発売されて50年になり、ご承知のとおり野菜、花き栽培では施設園芸が進みました。雨を防げることと、寒い冬でも栽培環境を春・秋に近づけたいという思いが、ノービの発売によって可能となりました。

この数年、夏場の暑さが厳しく、作物に対する高温障害が多発し、各所で高温対策が栽培のテーマとなっています。高温時は遮光ネットを張る場合が多いと思いますが、ネットを張ることで温度を下げようとすると、ハウス内が暗く

なって軟弱徒長になるという問題が発生します。

すなわち、暗くしないと温度が下がらないというのが、従来の遮光ネットでした。

しかし、「タキイホワイト」は、日光をできるだけ多くハウス内に入れながら、ハウス内の温度を下げるのが可能です。「温度は下げたいが、光不足のため軟弱になるので、遮光ネットは使用しなかった」という生産者の方にも、ぜひ一度お試しください遮光ネットです。

ハウス内の温度低下と、明るさを確保

平成11年に「タキイホワイト65(遮光率60~65%)」、平成13年に「タキイホワイト45(遮光率40~45%)」を発売し、すぐれた遮熱・遮光効果、そして乱反射、拡散光が多いため、通常の遮光・遮熱ネットに比べてハウス内は明るく涼しいと好評です。

- 地温抑制効果もあり、夏場の地面からの蒸散が抑えられ、灌水回数の減少につながります。
- 葉面温度上昇抑制効果もあります。
- 暑い夏でも早期定植、早期播種が可能となり、冬季曇天時でも、乱反射によりハウス内に日差しが入るため、長期収穫も可能となりました。
- 暑さによる作物のなり疲れを防止し、収量アップに貢献できます。
- ハウス内の温度が下がることで作業環境がよくなり、働く人の作業性も向上します。
- 従来の遮光ネットに比べ、同遮光率比較で、ハウス内の温度は2~3 低くなり、明るさは20~30%アップします。

アザミウマ類防除対策

通常の白の素材は、酸化チタンが入っているので紫外線を吸収しますが、「タキイホワイト」に使用のデュポンタイベック®は、太陽光の紫外線領域も乱反射させるので、アザミウマ類の飛行を困難にし、ハウスサイド張りで高い防除効果が確認されています。

対象作物(高温対策)

- ・ **ホウレンソウ**
生育早く、生育ムラ少なく、株も大きい。
- ・ **トマト**
着色不良、しおれ対策、裂果・花とび減少。
- ・ **キャベツ、ブロッコリの育苗**
- ・ **オリエンタル系ユリ**
葉焼け防止、草丈伸長、茎太、花のボリュームアップ。
- ・ **ユーストマ...ロゼット対策。**
- ・ **イチゴ**
8月下旬~9月上旬育苗で花芽開花促進、4~5月温度上昇下での果実の軟化、色ムラ防止。
- ・ **店舗...鉢物、花苗、野菜苗のしおれ対策。**

使用法は、遮光目的では外張り、内張りで巻上げ開閉設備があればベストです。内張りの梁の上に、水平に張る方法も有効です。雨天曇天の日には、手でハウスの両側に寄せて光を入れるのが有効です。



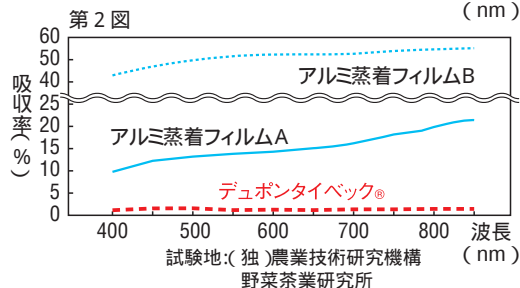
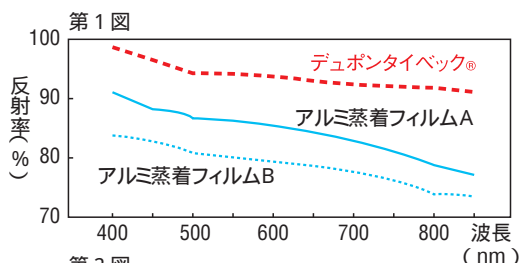
↑「タキイホワイト45」の外張り。



↑トマト栽培での使用（ハウス内張りカーテン）

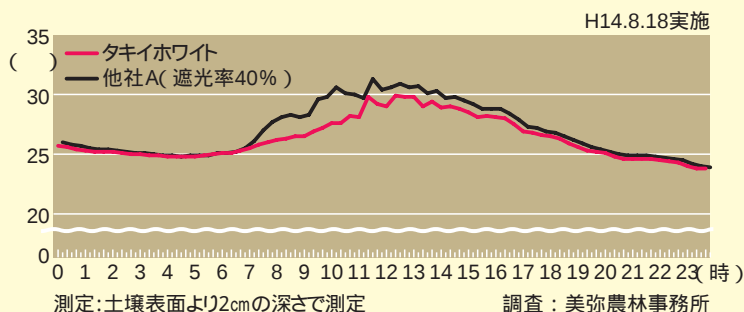
タキイホワイトの涼しさの秘密は？

すぐれた断熱性があるとされているPO系アルミ蒸着フィルムと比較して、タキイホワイトの素材であるデュポンタイベック®の反射率はかなり高く（第1図）、特に熱に関連する長波の部分でその差が大きくなっています。また、デュポンタイベック®は熱の吸収がほとんどないために（第2図）デュポンタイベック®自体が蓄熱することはありません。



「タキイホワイト」使用時における地温調査

「タキイホワイト」を使用して、山口県美弥農林事務所・農業普及部にて行われた、実際の現場での地温測定結果をご提供いただきましたので、ご参照ください。



この調査は平成14年8月に実施し、比較のために別々のハウスに「タキイホワイト」と他社商品を外張りで被覆し、調査したものです。日中では、平均で1.5℃、最高で2.6℃程度、「タキイホワイト」を使ったハウスの方が地温が低いという結果となりました（間口7.2m、長さ16mのハウスに幅7m、長さ15mの「タキイホワイト」を使用）。

明るいうえに、温度も下がるので作業性が抜群！ 島根県 益田市 渋谷 記幸さん

私は、島根県でトマトのハウス抑制栽培をしています。夏場のハウス内での作業はとても暑く、人間にとっても野菜にとっても、強すぎる日差しや暑すぎる気温はあまりにも過酷です。それを遮るためには、ネットの使用が必要不可欠です。以前は、シルバーで遮光率が40～45%のネットを使用していました。しかし、夏の日差しは厳しく、当然ハウス内の気温も高いので、作業の手もあまりはかどりませんでした。

そんなとき、山陰種苗さんより「タキイホワイト」の使用をすすめられ、遮光率が40～45%の「タキイホワイト45」を使用してみることにしました。

実際に内張りカーテンにしてみたところ、明るさはシルバーよりも明るく、ハウス内の気温も従来より低くなったため、作業がしやすくなりました。そして、トマトも大きな病害におかされることなく、前年より増収となりました。聞くところによると、サイド張りをするとアザミウマ類の防除に効果があるとのこと。今度はサイド張りも試してみようかと考えています。

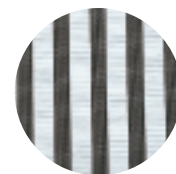
少々、割高なので導入を迷いましたが、劣化しにくく7～8年使えるのであれば、トマトの増収が見込めるのでコスト面でも問題なく、もう少し長い目で見ているかと思っています。

タキイホワイト

■規格 ■色: 白

申込番号	品名	遮光率(%)	幅×長さ(m)	数量	価格
04-074-12	タキイホワイト65	60～65	2×100	1本	70,000円
04-074-13	タキイホワイト45	40～45	2×100	1本	66,000円
04-074-14	タキイホワイト65家庭用	60～65	2×5	1枚	4,900円
04-074-15	タキイホワイト45家庭用	40～45	2×5	1枚	4,600円

タキイ
オリジナル



↑タキイホワイト45 ↑タキイホワイト65

商品については74ページにも掲載していますので、ご覧ください。加工品はお近くの種苗店でお問い合わせください。